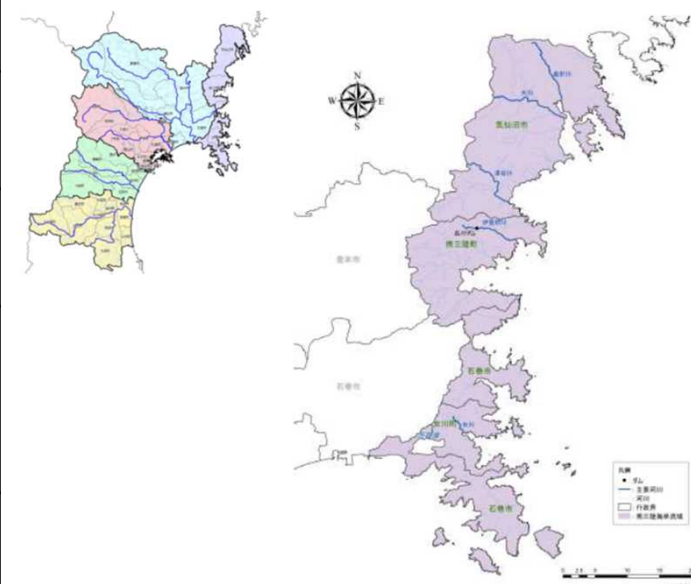


今回公表する「流域水循環計画」

	計画名	提出機関名
1	南三陸海岸流域水循環計画	宮城県
2	阿武隈川流域水循環計画	宮城県
3	にかほ市水循環基本計画	にかほ市
4	第2次高砂市環境基本計画改訂版の一部	高砂市
5	「水との共生」プラン	福島県
6	印旛沼流域水循環健全化計画・第3期行動計画	千葉県
7	安曇野市水環境基本計画・同行動計画	安曇野市

【新規】「南三陸海岸流域水循環計画」の概要

計画名	南三陸海岸流域水循環計画（R4.3策定）		
提出機関名	宮城県	対象地域	南三陸海岸流域（2市2町）
メイン課題	水質改善、湧水保全、地下水、貯留・涵養、水インフラ、水環境（水量）、治水、生態系		
計画概要	南三陸海岸流域の水循環の現状把握等により見出された課題に対し、解決・改善を図るための具体的な対応・取組を示すもの。山間部、農村部、都市郊外部、都市部、海岸部それぞれの地域の取組の連携や新たな施策を講じることにより健全な水循環の維持・回復を図る。		
計画の特徴	「みんなでつなぐいのちの水～守り、育て、未来へ～」を基本理念に、流域が一体となり総合的な取組を推進。健全な水循環を構成する「清らかな流れ」、「豊かな流れ」、「安全な流れ」、「豊かな生態系」という4つの要素ごとに将来像を設定し、取組を推進。		



計画対象地域（南三陸海岸流域（2市2町））

【実施体制】		流域水循環計画推進会議																								
地方公共団体	都道府県	○	○南三陸海岸流域の課題と具体的な取組 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>南三陸海岸流域の課題</th> <th>具体的取組</th> <th>流域管理指標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>清らかな流れ</td> <td>○海域の水質改善・維持 ○地球温暖化に伴う水温上昇が水質に与える影響</td> <td>○森林の整備と管理による水質浄化機能向上 ○生活排水処理施設整備による流入負荷量の削減 ○持続可能なみやぎの漁場環境づくり 推進事業による水質等調査</td> <td>○水質（海域COD, 全窒素, 全磷） ○透明度（透視度）・水温・DO ○汚水処理人口普及率</td> </tr> <tr> <td>豊かな流れ</td> <td>○湧水時の水利用調整 ○大規模開発による水循環への影響</td> <td>○湧水情報連絡会等での情報の共有 ○みやぎe行動(eco do!)宣言に基づく節水の実践 ○自然環境や景観の保全等に関わる関連法令に基づく規制・指導の徹底、協定などの締結</td> <td>○湧水流量 ○森林面積</td> </tr> <tr> <td>安全な流れ</td> <td>○洪水や土砂災害の頻発化、激甚化 ○洪水時の防災体制の強化</td> <td>○避難確保計画作成・避難訓練の促進 ○河川情報システムによる情報提供</td> <td>○避難確保計画作成率</td> </tr> <tr> <td>豊かな生態系</td> <td>○藻場の再生・保全 ○気候変動等に伴う生態系の変化 ○プラスチックによる海洋汚染問題</td> <td>○宮城県藻場ビジョンに基づく、磯焼け対策等 ○生態系に係るモニタリングやデータの収集 ○スマイルサポーターによる美化活動等の推進</td> <td>○藻場の被度 ○漁獲量 ○水生生物調査参加者数 ○スマイルサポーター認定数</td> </tr> </tbody> </table>					南三陸海岸流域の課題	具体的取組	流域管理指標	清らかな流れ	○海域の水質改善・維持 ○地球温暖化に伴う水温上昇が水質に与える影響	○森林の整備と管理による水質浄化機能向上 ○生活排水処理施設整備による流入負荷量の削減 ○持続可能なみやぎの漁場環境づくり 推進事業による水質等調査	○水質（海域COD, 全窒素, 全磷） ○透明度（透視度）・水温・DO ○汚水処理人口普及率	豊かな流れ	○湧水時の水利用調整 ○大規模開発による水循環への影響	○湧水情報連絡会等での情報の共有 ○みやぎe行動(eco do!)宣言に基づく節水の実践 ○自然環境や景観の保全等に関わる関連法令に基づく規制・指導の徹底、協定などの締結	○湧水流量 ○森林面積	安全な流れ	○洪水や土砂災害の頻発化、激甚化 ○洪水時の防災体制の強化	○避難確保計画作成・避難訓練の促進 ○河川情報システムによる情報提供	○避難確保計画作成率	豊かな生態系	○藻場の再生・保全 ○気候変動等に伴う生態系の変化 ○プラスチックによる海洋汚染問題	○宮城県藻場ビジョンに基づく、磯焼け対策等 ○生態系に係るモニタリングやデータの収集 ○スマイルサポーターによる美化活動等の推進	○藻場の被度 ○漁獲量 ○水生生物調査参加者数 ○スマイルサポーター認定数
		南三陸海岸流域の課題					具体的取組	流域管理指標																		
	清らかな流れ	○海域の水質改善・維持 ○地球温暖化に伴う水温上昇が水質に与える影響					○森林の整備と管理による水質浄化機能向上 ○生活排水処理施設整備による流入負荷量の削減 ○持続可能なみやぎの漁場環境づくり 推進事業による水質等調査	○水質（海域COD, 全窒素, 全磷） ○透明度（透視度）・水温・DO ○汚水処理人口普及率																		
豊かな流れ	○湧水時の水利用調整 ○大規模開発による水循環への影響	○湧水情報連絡会等での情報の共有 ○みやぎe行動(eco do!)宣言に基づく節水の実践 ○自然環境や景観の保全等に関わる関連法令に基づく規制・指導の徹底、協定などの締結					○湧水流量 ○森林面積																			
安全な流れ	○洪水や土砂災害の頻発化、激甚化 ○洪水時の防災体制の強化	○避難確保計画作成・避難訓練の促進 ○河川情報システムによる情報提供					○避難確保計画作成率																			
豊かな生態系	○藻場の再生・保全 ○気候変動等に伴う生態系の変化 ○プラスチックによる海洋汚染問題	○宮城県藻場ビジョンに基づく、磯焼け対策等 ○生態系に係るモニタリングやデータの収集 ○スマイルサポーターによる美化活動等の推進	○藻場の被度 ○漁獲量 ○水生生物調査参加者数 ○スマイルサポーター認定数																							
政令指定都市	-																									
市区町村	○																									
国の地方支分部局	○																									
有識者	○																									
事業者	○																									
団体（NPOなど）	○																									
住民	○																									
その他（ ）	-																									

○取組の進行管理

管理指標値等の状況を確認するとともに、「流域水循環計画推進会議」で報告された活動内容、課題、対応方策等を取りまとめることにより進行管理。

これらを踏まえ、取組、連携のあり方等を立案し、PDCAサイクルにより取組を発展。

【新規】「阿武隈川流域水循環計画」の概要

計画名	阿武隈川流域水循環計画（R4.3策定）		
提出機関名	宮城県	対象地域	阿武隈川流域（3市8町）
メイン課題	水質改善、湧水保全、地下水、貯留・涵養、水インフラ、水環境（水量）、治水、生態系		
計画概要	阿武隈川流域の水循環の現状把握等により見出された課題に対し、解決・改善を図るための具体的な対応・取組を示すもの。山間部、農村部、都市郊外部、都市部、海岸部それぞれの地域の取組の連携や新たな施策を講じることにより健全な水循環の維持・回復を図る。		
計画の特徴	「みんなでつなぐいのちの水～守り、育て、未来へ～」を基本理念に、流域が一体となり総合的な取組を推進。健全な水循環を構成する「清らかな流れ」、「豊かな流れ」、「安全な流れ」、「豊かな生態系」という4つの要素ごとに将来像を設定し、取組を推進。		



計画対象地域（阿武隈川流域（3市8町））

【実施体制】		流域水循環計画推進会議																						
地方公共団体	都道府県	○	○阿武隈川流域の課題と具体的な取組 <table border="1"> <thead> <tr> <th>阿武隈川流域の課題</th> <th>具体的取組</th> <th>流域管理指標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>清らかな流れ</td> <td>○海域の水質改善・維持 ○地球温暖化に伴う水温上昇が水質に与える影響</td> <td>○森林の整備と管理による水質浄化機能向上 ○多面的機能支払交付金の活動に取り組む地域の水環境保全活動 ○環境保全型農業の推進</td> <td>○水質（海域COD、全窒素、全磷） ○透明度（透視度）・水温・DO ○污水处理人口普及率</td> </tr> <tr> <td>豊かな流れ</td> <td>○渇水時の水利用調整 ○大規模開発による水循環への影響</td> <td>○渇水情報連絡会等での情報の共有 ○みやぎe行動(eco do!)宣言に基づく節水の実践 ○自然環境や景観の保全等に関わる関連法令に基づく規制・指導の徹底、協定などの締結</td> <td>○渇水流量 ○森林面積</td> </tr> <tr> <td>安全な流れ</td> <td>○洪水や土砂災害の頻発化、激甚化 ○洪水時の防災体制の強化</td> <td>○避難確保計画作成・避難訓練の促進 ○河川情報システムによる情報提供</td> <td>○避難確保計画作成率</td> </tr> <tr> <td>豊かな生態系</td> <td>○水生生物の生息環境の保全 ○プラスチックによる海洋汚染問題</td> <td>○水環境保全の普及啓発 ○水生生物調査 ○スマイルサポーターによる美化活動等の推進</td> <td>○白鳥飛来数 ○水生生物調査参加者数 ○流域活動団体支援事業の実施状況 ○スマイルサポーター認定数</td> </tr> </tbody> </table>			阿武隈川流域の課題	具体的取組	流域管理指標	清らかな流れ	○海域の水質改善・維持 ○地球温暖化に伴う水温上昇が水質に与える影響	○森林の整備と管理による水質浄化機能向上 ○多面的機能支払交付金の活動に取り組む地域の水環境保全活動 ○環境保全型農業の推進	○水質（海域COD、全窒素、全磷） ○透明度（透視度）・水温・DO ○污水处理人口普及率	豊かな流れ	○渇水時の水利用調整 ○大規模開発による水循環への影響	○渇水情報連絡会等での情報の共有 ○みやぎe行動(eco do!)宣言に基づく節水の実践 ○自然環境や景観の保全等に関わる関連法令に基づく規制・指導の徹底、協定などの締結	○渇水流量 ○森林面積	安全な流れ	○洪水や土砂災害の頻発化、激甚化 ○洪水時の防災体制の強化	○避難確保計画作成・避難訓練の促進 ○河川情報システムによる情報提供	○避難確保計画作成率	豊かな生態系	○水生生物の生息環境の保全 ○プラスチックによる海洋汚染問題	○水環境保全の普及啓発 ○水生生物調査 ○スマイルサポーターによる美化活動等の推進	○白鳥飛来数 ○水生生物調査参加者数 ○流域活動団体支援事業の実施状況 ○スマイルサポーター認定数
	阿武隈川流域の課題	具体的取組				流域管理指標																		
	清らかな流れ	○海域の水質改善・維持 ○地球温暖化に伴う水温上昇が水質に与える影響				○森林の整備と管理による水質浄化機能向上 ○多面的機能支払交付金の活動に取り組む地域の水環境保全活動 ○環境保全型農業の推進	○水質（海域COD、全窒素、全磷） ○透明度（透視度）・水温・DO ○污水处理人口普及率																	
豊かな流れ	○渇水時の水利用調整 ○大規模開発による水循環への影響	○渇水情報連絡会等での情報の共有 ○みやぎe行動(eco do!)宣言に基づく節水の実践 ○自然環境や景観の保全等に関わる関連法令に基づく規制・指導の徹底、協定などの締結				○渇水流量 ○森林面積																		
安全な流れ	○洪水や土砂災害の頻発化、激甚化 ○洪水時の防災体制の強化	○避難確保計画作成・避難訓練の促進 ○河川情報システムによる情報提供	○避難確保計画作成率																					
豊かな生態系	○水生生物の生息環境の保全 ○プラスチックによる海洋汚染問題	○水環境保全の普及啓発 ○水生生物調査 ○スマイルサポーターによる美化活動等の推進	○白鳥飛来数 ○水生生物調査参加者数 ○流域活動団体支援事業の実施状況 ○スマイルサポーター認定数																					
政令指定都市	-																							
市区町村	○																							
国の地方支分部局	○																							
有識者	○																							
事業者	○																							
団体（NPOなど）	○																							
住民	○																							
その他（ ）	-																							

○取組の進行管理

管理指標値等の状況を確認するとともに、「流域水循環計画推進会議」で報告された活動内容、課題、対応方策等を取りまとめることにより進行管理。
これらを踏まえ、取組、連携のあり方等を立案し、PDCAサイクルにより取組を発展。

【新規】「にかほ市水循環基本計画」の概要

計画名	にかほ市水循環基本計画（R4.3策定）		
提出機関名	にかほ市	対象地域	にかほ市全域
メイン課題	水利用、地域振興、教育・普及啓発、人材育成		
計画概要	水循環に関する実態を整理し、健全な水循環の維持・保全の観点からにかほ市が目指す基本理念や将来像を示し、これにより水資源の保全や市の発展に資する施策の推進等を図ることを目的としたもの。		
計画の特徴	学生が提案した「にかほモデル」をもとに、「水循環を生かした躍動するにかほ市を想像する」を基本理念、「新しい地場産業の創出 観光収入増！ 地元経済が活性化！」、「田園都市としての世界モデルへ！ SDGs を目指した世界の「Nikaho」」、「新たな交流の場！ 活気・にぎわいが生まれ、もっと安心して過ごせる市に！」を将来像に設定。「市の魅力を市の内外へ発信」、「排水から生まれる資源の有効利用」、「水との共生から生まれる新たな付加価値」を基本方針として取組を推進。		



計画対象地域（にかほ市全域）

【実施体制】 庁内各課によるプロジェクトチーム（計画策定主体）

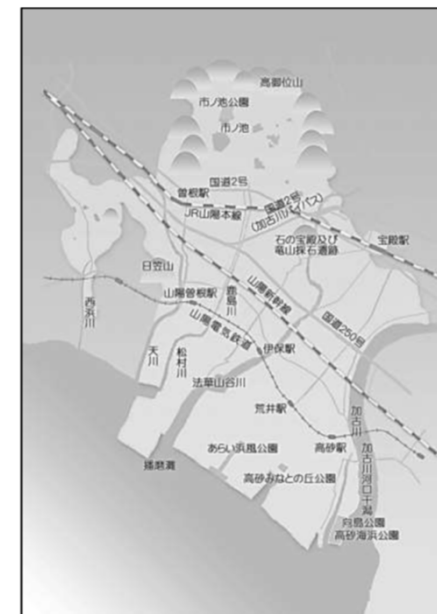
地方公共団体	都道府県	-	○施策の体系 基本方針 市の魅力を市の内外へ発信 水資源の観点から市の魅力を積極的に地域内外へ広報・周知する 排水から生まれる資源の有効利用 水利用後の副産物も含めて、限りある水資源を循環的に有効利用する 水との共生から生まれる新たな付加価値 あらゆる産業との「水×〇〇」から新たな価値を生み出し経済成長に繋げる
	政令指定都市	-	
市区町村	○		
国の地方支分部局	-	○実施体制 1. 市出身の著名人や市の魅力を発信する 2. 市内外の交流の場を創出し、活気・賑わいを生み出す 3. 水で繋げる地域内外との交流 4. 田園都市の循環型まちづくり 5. 水資源を利用した産物やサービスを開発する 6. 地域内外の産官学民と連携し、新たな産業を創出する	
有識者	○	1. 旧上郷小学校を拠点とした「関係人口」創出事業 2. 水循環都市にかほモデルPR事業 3. 観光プロモーション事業 4. 鳥海山・飛鳥ジオパーク推進事業 5. アウトドアアクティビティ拠点施設整備事業 6. アウトドアアカデミー事業 7. ワーケーションコンフィールド構築事業 8. 鳥海山・飛鳥ジオパーク推進事業 9. 水循環都市にかほモデルPR事業 10. 水循環都市にかほモデルPR事業 11. 産学官民との協働による持続的検討(水循環流域協議会(仮称)の設置)	
事業者	○	1. 自然・歴史・文化の魅力を発信する 2. 水資源を利用した産物やサービスを開発する 3. 水資源を利用した産物やサービスを開発する 4. 水資源を利用した産物やサービスを開発する 5. 水資源を利用した産物やサービスを開発する 6. 水資源を利用した産物やサービスを開発する 7. 水資源を利用した産物やサービスを開発する 8. 水資源を利用した産物やサービスを開発する 9. 水資源を利用した産物やサービスを開発する 10. 水資源を利用した産物やサービスを開発する 11. 水資源を利用した産物やサービスを開発する	
団体（NPOなど）	-	1. 旧上郷小学校を拠点とした「関係人口」創出事業 2. 水循環都市にかほモデルPR事業 3. 観光プロモーション事業 4. 鳥海山・飛鳥ジオパーク推進事業 5. アウトドアアクティビティ拠点施設整備事業 6. アウトドアアカデミー事業 7. ワーケーションコンフィールド構築事業 8. 鳥海山・飛鳥ジオパーク推進事業 9. 水循環都市にかほモデルPR事業 10. 水循環都市にかほモデルPR事業 11. 産学官民との協働による持続的検討(水循環流域協議会(仮称)の設置)	
住民	○	1. 旧上郷小学校を拠点とした「関係人口」創出事業 2. 水循環都市にかほモデルPR事業 3. 観光プロモーション事業 4. 鳥海山・飛鳥ジオパーク推進事業 5. アウトドアアクティビティ拠点施設整備事業 6. アウトドアアカデミー事業 7. ワーケーションコンフィールド構築事業 8. 鳥海山・飛鳥ジオパーク推進事業 9. 水循環都市にかほモデルPR事業 10. 水循環都市にかほモデルPR事業 11. 産学官民との協働による持続的検討(水循環流域協議会(仮称)の設置)	
その他（大学、高校）	○	1. 旧上郷小学校を拠点とした「関係人口」創出事業 2. 水循環都市にかほモデルPR事業 3. 観光プロモーション事業 4. 鳥海山・飛鳥ジオパーク推進事業 5. アウトドアアクティビティ拠点施設整備事業 6. アウトドアアカデミー事業 7. ワーケーションコンフィールド構築事業 8. 鳥海山・飛鳥ジオパーク推進事業 9. 水循環都市にかほモデルPR事業 10. 水循環都市にかほモデルPR事業 11. 産学官民との協働による持続的検討(水循環流域協議会(仮称)の設置)	

○取組の進行管理
KPI（重要業績評価指標）を基に進捗管理。
5年に1度程度計画の見直し。

KPI	現状 (R3)	単位	R4~R8の目標	施策コンセプト
「関係人口」との連携による新たな地域問題解決の取組件数	2	件	6	①②⑥
PR事業連携者数	0	者	10	①⑤
観光入込数	2,300	千人	14,500	①②③⑤
ワーケーション利用企業数	0	社	13	②
高大連携事業参加生徒数	30	人	100	④
特産品のブランド化等に取り組む民間活動の支援件数	1	件	3	⑤
勉強会参加者数	53	人	300	③⑥

【新規】「第2次高砂市環境基本計画 改訂版」の一部の概要

計画名	第2次高砂市環境基本計画 改訂版の一部（R4.3策定）		
提出機関名	高砂市	対象地域	高砂市全域
メイン課題	水質改善、貯留・涵養、水インフラ、治水、水辺空間、教育・普及啓発		
計画概要	「自然・まち・ひとが共生する 高砂～水と緑が将来に続く～」を基本理念、美しく快適に暮らせる「生活環境」、水と緑の恵みに感謝し、人と自然が共生する「自然環境」、持続可能な脱炭素社会をつくる「地球環境」、学びを通じ、環境行動力を育む「環境学習」の4つを基本目標に、身近にある水と緑を健全に保ち、将来世代に引き継ぐことを取組の主軸とするもの。		
計画の特徴	都市化が進展している中で、水質の保全・改善、生物生息環境の保全、河川・ため池等の水環境の維持管理の推進、湧水等の水源の確保を図り、健全な循環の維持・回復に取り組むもの。		



計画対象地域（高砂市全域）

【実施体制】

高砂市環境審議会（計画策定主体）

地方公共団体	都道府県	○
	政令指定都市	-
	市区町村	○
国の地方支分部局		-
有識者		○
事業者		○
団体（NPOなど）		-
住民		○
その他（ ）		-

○施策の体系

自然・まち・ひとが共生する高砂、水と緑が将来に続く	基本理念	基本目標	施策の方向性
	【生活環境】 美しく、快適に暮らせるまちにします	【自然環境】 水と緑の恵みに感謝し、人と自然が共生します	地域環境の保全
			環境の監視と情報発信
	【地球環境】 持続可能な脱炭素社会をつくります	【環境学習】 学びを通じ、環境行動力を育みます	景観の保全
			ごみが落ちていないまち
		水質汚濁の防止	
		水と緑の保全	
		健全な水循環の保全	
		公園や緑地の管理	
		生物多様性保全	
		再生可能エネルギーの導入促進	
		省エネルギー行動の促進	
		脱炭素型まちづくりの推進	
		廃棄物の減量と再資源化	
		気候変動への適応	
		事業における環境保全活動	
		学校等での学習	
		環境理解の推進	

○施策の方向性

水質汚濁の防止	生活排水の適正処理
水と緑の保全	緑地の推進、緑地の保全、ため池の保全、農地の保全、水質の保全、緑地、ため池、農地等の健全な生態系の保全
健全な水循環の保全	雨水貯留施設の設置促進、保水性舗装・透水性舗装の推進
公園や緑地の管理	公園の維持・管理、地域資源の活用
生物多様性保全	市の自然の保全活動（山、ため池、海・川）、動植物に関する情報の収集・発信、地域資源の保全、外来生物対策、「豊かな海」を目指す取組の推進

○計画の推進体制

計画の実現のため、市民、事業者、市はそれぞれの責務を明らかにし、それぞれができることを積極的に持ち寄り、支え合い、良好な関係を築く。

【改定】「水との共生プラン」の概要（H28年度 確認・公表）

計画名	水との共生プラン（H18.7策定、R4.4更新）		
提出機関名	福島県	対象地域	福島県全域
メイン課題	水質改善、水利用、貯留・涵養、治水、水辺空間、水文化、教育・普及啓発		
計画概要	水の恩恵や水に対する畏怖を含め、水と人との関係を再認識し、良好な関係を築いていくため、産学民官の参加と連携の下、総合的・重点的に実施していく施策の方向を示すもの。		
計画の特徴	「水にふれ、水に学び、水とともに生きる～連携による、流域の健全な水循環の継承～」を理念、「清らかな水が巡り、多様な生きものを育む緑豊かな水辺に子どもも大人も遊ぶ源流県・ふくしま」を将来像に、「水と人とのかかわりの再構築」、「流域を単位とした施策の総合的な展開」、「水管理体制の確立」を三つの柱として取組を展開。		



計画対象地域（福島県全域）

【改定内容】 平成18年の計画策定後に新たに生じた「頻発化・激甚化する自然災害」、「東日本大震災及び原子力災害」、「新型コロナウイルス感染症」を課題として追加し、流域治水、放射性物質対策等を実施。

【実施体制】		福島県水循環協議会																								
地方公共団体	都道府県	○	○ 施策の体系																							
	政令指定都市	-																								
	市区町村	○																								
国の地方支分部局		○																								
	有識者	○																								
	事業者	○																								
	団体（NPOなど）	○																								
	住民	○																								
	その他（ ）	-																								
				<table border="1"> <tr> <td>水を育む</td> <td>[3] 森林や農地の保全・整備の推進</td> </tr> <tr> <td>水を大切に使う</td> <td>[4] 水源や地下水保全対策の推進</td> </tr> <tr> <td>水をきれいにする</td> <td>[5] 水の有効利用の推進</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[6] 生活排水や工場排水対策などの推進</td> </tr> <tr> <td>水辺を豊かにする</td> <td>[7] 環境に配慮した農業の推進</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[8] 身近に親しめる水辺づくりの推進</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[9] 生態系に配慮した水辺づくりの推進</td> </tr> <tr> <td>災害に備える</td> <td>[10] 河川整備と一体となった流出抑制対策の推進</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[11] 地域で取り組む減災対策の促進</td> </tr> <tr> <td>水を地域で生かす</td> <td>[12] 緊急時の円滑な水融通の仕組みづくりの推進</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[13] 水を生かした産業などの促進</td> </tr> </table>	水を育む	[3] 森林や農地の保全・整備の推進	水を大切に使う	[4] 水源や地下水保全対策の推進	水をきれいにする	[5] 水の有効利用の推進		[6] 生活排水や工場排水対策などの推進	水辺を豊かにする	[7] 環境に配慮した農業の推進		[8] 身近に親しめる水辺づくりの推進		[9] 生態系に配慮した水辺づくりの推進	災害に備える	[10] 河川整備と一体となった流出抑制対策の推進		[11] 地域で取り組む減災対策の促進	水を地域で生かす	[12] 緊急時の円滑な水融通の仕組みづくりの推進		[13] 水を生かした産業などの促進
水を育む	[3] 森林や農地の保全・整備の推進																									
水を大切に使う	[4] 水源や地下水保全対策の推進																									
水をきれいにする	[5] 水の有効利用の推進																									
	[6] 生活排水や工場排水対策などの推進																									
水辺を豊かにする	[7] 環境に配慮した農業の推進																									
	[8] 身近に親しめる水辺づくりの推進																									
	[9] 生態系に配慮した水辺づくりの推進																									
災害に備える	[10] 河川整備と一体となった流出抑制対策の推進																									
	[11] 地域で取り組む減災対策の促進																									
水を地域で生かす	[12] 緊急時の円滑な水融通の仕組みづくりの推進																									
	[13] 水を生かした産業などの促進																									
			○ 計画の推進 計画を推進するため、普及啓発、他の関係計画との連携、多様な主体との連携を図るとともに、モニタリングを行うことにより計画の進行管理を実施。																							

【改定】「安曇野市水環境基本計画・同行動計画」の概要（H29年度 確認・公表）

計画名	安曇野市水環境基本計画・同行動計画 (H29.3策定、R4.3改定)		
提出機関名	安曇野市	対象地域	安曇野市全域
メイン課題	水利用、湧水保全、地下水、貯留・涵養、教育・普及啓発		
計画概要	「水は、次世代からの預かりもの」をコンセプトとして、水資源の保全・強化・活用のための施策展開を図るためのもの。		
計画の特徴	「地下水は市民共有の財産である」、「全市民が地下水保全・強化に努め、健全な地下水環境を創出する」、「地下水資源を活用し、豊かな安曇野を次世代に引き継ぐ」という基本理念（安曇野ルール）を具体化するため、取組の全体像及び短期的・重点的に取り組む施策を取りまとめたもの。		



計画対象地域（安曇野市全域）

【改定内容】 これまでの取組結果や社会的情勢の変化を踏まえ、グリーンインフラの観点から地下水涵養に資する施設の検討、普及啓発のため、水の魅力を発信する「水結（みずゆい）」制度等の施策を展開。

【実施体制】		安曇野市水環境審議会		
地方公共団体	都道府県	○	○施策の体系 水資源の保全・強化・活用のための施策 ① 施策1: 水を貯める・育てる施策 ② 施策2: 水を上手に使う施策 ③ 施策3: 水を清らかなまま維持する施策 ④ 施策4: 水を大切に誇りに思える施策 ⑤ 施策5: 地下水保全・強化・活用を支援する社会システムの構築 ⑥ 施策6: 推進のための体制づくり	
	政令指定都市	-		
	市区町村	○		
国の地方支分部局		○		○進行管理の体制と方法 ① 毎年の個別評価 ② 基準（中間・目標）年の点検・評価
有識者		○		
事業者		○		
団体（NPOなど）		○		
住民		○		
その他（ ）		-		